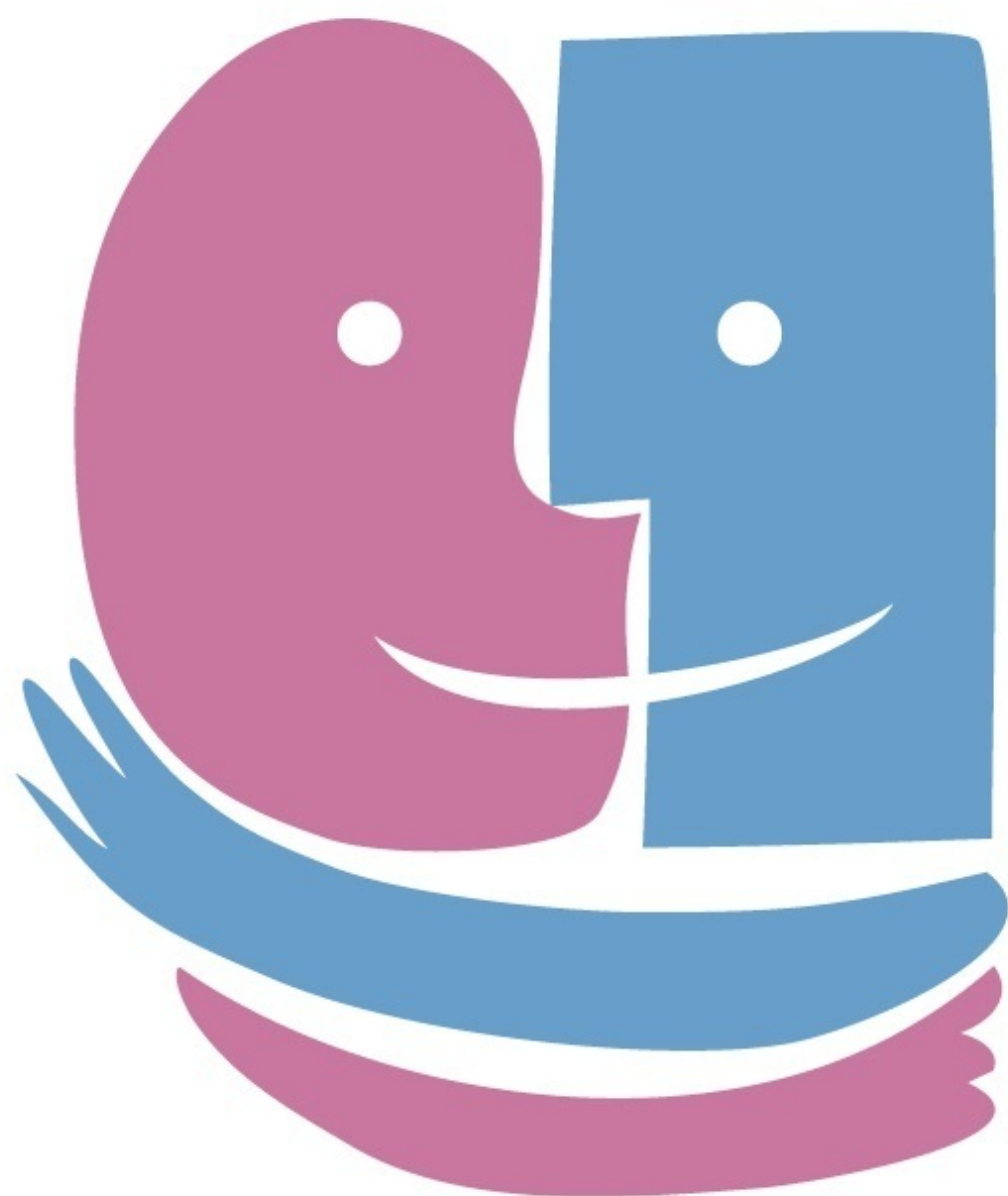


ブ ラ ン コ
BLANCO

僕 の 半 分 私 の 半 分



ふたりでひとりのBlanco

Blanco

君とブランコ

私とブランコ

僕は大切なモノは最後までとっておくほうさ

私は先に食べちゃう方かな？

大事にしまっておいたのに

みんなにみせびらかしたいの

僕は空を見上げていたんだ

私は月を見つめていた

そうして夜が明けた

はじめまして？**blanco**です。

はじめまして？

ふたりでひとりのblancoです

あなたとは何度か逢ったかも？

それとも

はじめましてかな？

今宵は望月

そう～

満月の夜です。

星言葉は

さびしがり屋で素直

誕生花は

センニチコウ

誕生花の花言葉は

不変の愛

誕生石は

ファイヤー・オパール

石言葉は

恋する人

そんな2011年8月14日の日デビューしました

ふたりでひとり

ふたりの名前ですか？

もう知っているのでは？

はじめまして？

かな・・・。

この詩集が完成したら

2人の名前を最後の行に書き記しましょうか・・・

シーズンズ

新しい季節

新しい服着て君はでかける

置いてきた季節

着なれた服のまま あなたは立ち止まる

ふりかえった坂道

何を期待したのか？

転がり落ちた坂道

何かを忘れてきたの？

何度目かの春に恋し

何度目かの夏に愛し

夏

アツアツの夏
できたてホヤホヤ

ホカホカの夏
たいようギラギラ

どうかカワイイあの子を眩ませないで
陽射しのせいなんかにさせないで

どうかステキなあの人をつれてかないで
ひと夏のせいなんかにしないで

寄せては返す波のように
季節は巡るというけれど

青い夜 僕は巣にもどり損ねた

赤い夜 私は月と戯れていた

誠実であることが美德だった時代も遙か

自由であることが秘密となる瞬間(いま)

すべてを覆い隠すための闇

巨大なマントを羽織って

でかけよう

どこに行くの？

ここではないどこか

今ではないいつか・・・

色

穏やかなあなた

ヒマワリの憂鬱

激しいあの娘

空の青い明るさ

季節を喰（は）みながら めくる色は

互い違いにまどろみながら

何色に染め上がり

何色に汚れていくんだろう・・・。

君がいた夏

君がいた夏
通り過ぎてしまった

あなたがいた夏
止まったまま

受け入れた朝の数を
抱きしめた夜の数を
二人で数えよう
離れ離れのこの街の中で・・・。

キミとのコネクション

Keyを叩くよ

たいていは真実

あなたとのコネクション

Keyを叩くの

ほとんどが嘘かも

接続された運命はネットワークの向こう側

いつだって純粋なマボロシ

今日

ちょっと拗ねてやるう～
あなたのお気に入りのクッションをかじって

今日は優しくできそうよ
約束はできないけれど

朝には陽のあたる場所
夜には月明かりの窓辺で
たとえばあなたのそばでね

そうやって
あなたの傍で まどろみ
わたしは溶けていく・・・

ふたりのスキマをうめつくすまで

時間

止まったままの時間

四角く区切られた箱のような部屋

動きだした時間

丸く大きな太陽のような空間

振り子に戻すための重力が僕らを縛りつけ

軽くなった魂が私たちを解き放つ

ココロの自由とカラダの不自由

求めるものは？

きっと退屈じゃない連続

ずっと退屈しない瞬間

ふたりのシャドウ

寄りかかるシャドウ

君の半身を飲み込もうとしている

襲いかかるシャドウ

あなたの半身をいたぶろうとしているわ

正か？邪か？

上下、左右、前後

いずれにしたって

ちょうど正確に

真半分に分けられてしまう僕ら

探している

求めている

ずっと遠い昔の記憶

ふたりはひとりだったんだ

ふんわりうむ

おひさまの におい
いっぱいすすいこんだ

すいこんだ におい
いっぱいにはきだした

深呼吸する朝
ホットミルクの湯気

あったかいな～
フワフワもくもく

おいしそうだな～
雲のわた飴

まるで わたしみたい

ゆっくりと
め・し・あ・が・れ

朝

お寝坊さんな あなた
まだ見ていただけなんだ
夢を
君のさ

早起きな わたし
また見たいだけなんだわ
顔を
あなたの

起きてすぐ あなたを想う

夢の中で逢おうというよ

ことばとKISS

はじめましてコンニチワ

キミとボクとの間に言葉を置こう

とびきりの一言を

この世界でひとりぼっちは寂しすぎるから

また逢えたねコンニチワ

アナタとワタシの間に言葉なんていないの

とっておきの一言をKISSに変えて

この世界でふたりぼっちで生きて行こう

ブラボーワールド！
僕は君のために在るんじゃない

ブラボーニューワールド！
私はあなたのためだけに在るのよ

世界と一緒に
世間と一緒に

少しのズレが面白い

ズ
ダ
ダ
ダ
ダ
ダ

まるで解説者のいないニュース
回答者のいないクイズ

ハートコレクション

起きてすぐ

あなたの顔をハートに想い描いた

ふんわりと抱きしめた

クッションをパンチ！

少しのジェラシー

たくさんの愛

ソファーに並べたコレクション

チグハグ

大小

いろいろな色

ぜんぶぜんぶ

あなたへの想い～

空き缶と太陽と僕らの事情

太陽なんて

くそくらえ！

蹴り上げた空き缶が宙を舞い

カラッ

カン

ココ

カカカカカ〜ン

乾いた音を響かせた

その音は心の奥底に届き

僕は何かから解放されるのを感じた

暗い暗い闇に包まれていた

僕の心

逢えないことは分かってる

会わないことに決まってる

ロングサマーバケーション

ピッカピッカに晴れやがってさ

ああ〜

雨でも降りやがれってんだ

スコールみたいに激しく短く

長雨は君を想わせるから嫌いだ

コーヒー

今朝のコーヒーは
いつもより苦く感じるわ

だからミルクを入れればいいって言ったんだ
だって黒を白で染めかえるコトはできないんですもの

深煎りは禁物だぜ？

そういう味しか好きになれないもの

そういう君が僕は好きさ

ライト

明かりを消して
君の姿がよく見えるように

小さなルームキャンドルを灯そう
君の心が迷わないように

明日への希望はひとつ
たとえ小さくたって
ただひとつなんだ

なら
この揺らぐ炎は消えないの？

消えないさ
願うならば

消せないさ
信じるならば
ね

またつぎの夢

タベ見た夢

僕は探した

タベ見た夢

私は忘れた

抱きしめた感覚

抱きしめられた感触

届かぬ想い

届かぬ指先

夜のカーテンの隙間から手を伸ばす

朝の光の中では その指先は見えない・・・

繰り返す夢

叶わない夢

今宵も幾度と繰り返すだけ

わたしの神様

やっぱり

神様なんていなかったね

最初から知ってたけど・・・

君に知らせるつもりはなかったんだ

なら・・・

そんな言葉くちにしないでよ

この世界は残酷さ

オブラートに包んで食べさせるわけにはいかないんだ

苦さをごまかして・・・

なら いっそ甘い甘い囁きの一つや二つ

軽く言ってみなさいよ

もちろん

君の唇に栓をして

沈黙を奏でることもできるさ

君の瞼に口づけて

歪んだ世界を遠ざけることだってね

でも君は本当にそれをのぞんでいるのかな？

ときどき分からなくなるんだ

じゃあ確かめてみて

今夜あなたが・・・。

雨の日曜日

雨の日曜日

楽しみにしていた約束

雨の日曜日

ウキウキしてたのに

通りすぎた昨日

ふりかえることもない

通りすぎたモノを

追いかけてたいのに

ふりかえれば雨

終わりとともに

夏の終わりとともに

このまま消えてしましましょう

秋の始まりとともに

このまま消えてしましましょう

ふたりの問いかけは空へと舞い上がり

新しい明日へつづいていくの

わたしはここよ

早くさらって

君は誰？

僕はここにいるよ

いつだって

今だって

2011年8月14日の満月の日にスタートした
『BLANCO～夏の章』は今日でおしまいです。

今日は上弦の月の日。
そう半月なので、まんまるだった月が又、半分になっちゃった日。

また2人は
僕の半分と
私の半分为
手さぐりで探しにでかけようと思います。

明日から又、新たにスタートする『BLANCO～秋の章』を
みなさんが覗いてくれると嬉しいです。

ありがとう。そして、これからもヨロシク

2011/09/05半月の日に～

blan と cobra ? わたしの場合～

ふたりでひとりのblancoです。

もちろん二人にはチャントした名前があります

別々に活動？も続けてます

『それぞれの作品を この本が抜いちゃったらどうするう～』

とアホな冗談を言いながら

それぞれに別の顔があるように

偽名(ペンネーム)と言う鎧を身につけて活動中です。

古典的？発想で分けたら

ブラン と コブラ ???にしたら面白いかなあ～なんて

今朝の私は ふと♪ 考えてしまいました。

だって

ブラン と コ？子？娘？では・・・

少々 痛いもの！？感じるもん～♪

差し詰め

ブランは何だか中途半端にブラブラしてたり(自由人???)

コブラは鋭い目つきで狙った獲物に勝負を挑む。(前みて、目標に走る！)

こんなイメージなのかもなあ～なんて勝手に考えてしまいました。

んっ？どちらがブランで

どちらがコブラかって???

どちらにも同じくらいその要素が含まれてるような気がします・・・。

私は少なくともそう感じてる。

どうなのかなあ〜？？？

気になるんで・・・

この先は彼にバトンタッチして～

彼の考えを聞いてみましょう

勝手にこうして呟いてるんで・・・

ご機嫌/か

いつものようにスルーされちゃうかもですがあ・・・へへっ♪

2011/08/15の朝に

まだ お寝坊さんが夢の中の間

に勝手に記(笑)

Blanc 0 僕の場合

コンニチハ

電子的な世界には距離も時間も関係無いのか？を確かめるために活動をつづけるBlancoです。

僕の場合、

Blancoはもちろん、ゆらゆらブラブラ。

行ったり来たりしてる存在です。

左へ右へ

上へ下へ

前へ後ろへ

そしてもうひとつ

英語で空白を意味するBlanc（ブランク）に数字の0（ゼロ）を組合わせたイメージ

それがBlanco

空白×空白なのか

空白がゼロなのか

分かりませんが、しばらくはゆらゆらブラブラつづけたと思っています。 2011/8/15 晴れ渡る
空の下で ちなみにiPhoneで投稿してみましたが、改行が反映されないみたいですかね？

ふ～ん♪そうなんだぁ～わたしの想い

カッコイイ！

始めて意味知りました。

そうなんだぁ～

でも考えそうなコトかな～

なんて

少しはハートの中にあったかも～

この会話

覗いてる人には？？？

勝手に二人でやってくれえーーーー！！

みたいなぁ～(笑)

まっ♪

これも二人の作品の一つと考えてみようよ

最後にiphoneからの投稿・・・

って記すトコに何か大人なのにい～

少年ばい自慢じみたトコ感じちゃいましたぁ～(笑)

↑

あっ！感じるなら『俺の魅力に感じろよ～』とか

言ったとか・・・

言わなかったりとかぁ～(爆！)←たまには言えよ～（^◇^）USOです♪

でわぁ～

引き続き 作品をお楽しみください～

2011/08/15

盆休みなのに暴走娘が気になって

オチオチ寝てられない誰かさん

^~

Blanco

<http://p.booklog.jp/book/32108>

著者 : blanco

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/blanco/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/32108>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/32108>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.